

令和元年度

事業報告書



社会福祉法人 朝倉市社会福祉協議会

目 次

『令和元年度事業の概要』	1
～社会福祉事業の推進～	2
事業報告の内容	7
事業明細（総務課）	
1. 独自財源	
(1) 法人運営事業	20
2. 補助事業	
(2) 法人運営管理事業	20
3. 受託事業	
(3) 老人福祉センター指定管理事業	20
4. 共同募金事業	
(4) 共同募金事務及び啓発活動	21
(福祉課)	
1. 独自財源	
(1) 地域福祉活動計画推進事業	25
(2) 住民福祉事業（P-UP 教室）	25
2. 補助事	
(3) 総合相談事業	25
(4) ふれあいのまちづくり事業	25
(5) 災害ボランティアセンター運営事業	26
(6) 生計困難者に対する相談支援事業	26
(7) 年賀寄付金配分事業	26
3. 受託事業	
(8) 生活福祉資金貸付事業	27
(9) 新型コロナ感染に伴う生活福祉資金特例貸付事業	27
(10) 障害者移動支援事業	27
(11) 高齢者筋力トレーニング事業	28
(12) 健康づくりサポート事業	28
(13) 通所型介護予防普及啓発事業（いきいき健康クラブ）	28
(14) 通所型介護予防普及啓発事業（外出支援サービス）	29
(15) 障害者地域生活支援事業	29
(16) 地域ミニデイサービス推進事業	29
(17) 日常生活自立支援事業	29
(18) 日常生活自立支援基幹的社協事業	30

(19) 住民福祉ボランティアのつどい	30
(20) 地域支え合いセンター運営事業	30
4. 共同募金事業	
(21) 共同募金配分金事業	30
5. その他の自主事業	
(22) その他の自主事業	31

令和元年度事業の概要

2019年は、平成から令和へと改元の年でありました。この元号「令和」の出典元が万葉集である由来は、「日本が持つ四季折々の自然や文化を、後世に残したい」という想いによるものと言われています。皆が「令和」ブームに浸り、希望を持てる、より良い国になるという想いであったに違いありません。しかし、歓迎ムードも程なく自然の厳しさは容赦なくまたもや災害の爪痕を残していきました。九州を襲った8月の大雨災害、台風15号、19号による関東・甲信地方、東北地方の大雨災害など広域で甚大な被害が発生しました。本会では、福岡県社会福祉協議会からの要請を受け、災害ボランティアセンターの運営支援を行うスタッフとして、9月に佐賀県武雄市ボランティアセンターへ職員1名を派遣しました。このほか、長野県と栃木県へ被災地支援として、災害ボランティアセンターに必要な資機材を送りました。

2020年には、多岐にわたる相談を福祉課でワンストップできるように相談支援を強化するため、2019年は準備期間として職員体制を整え、総合相談事業及び生活福祉資金貸付事業も総務課から福祉課へ移管いたしました。また共同募金の啓発及び募金活動を強化するため、福祉課から総務課へ事務事業を移管いたしました。

2019年の11月末に中国の武漢市から感染拡大した新型コロナウィルス感染症予防対策によって、翌年2月末以降より本会もあらゆる事業が影響を受け、中断もやむを得ませんでした。また困窮した国民への対策として生活福祉資金貸付事業の特例貸付が制度化され、窓口となる市町村社会福祉協議会の相談件数は、予想を上回ることになりました。しかしこのことは予め、相談事業を強化すべく準備しておりましたので、混乱もなく相談体制を整えることができました。相談により把握した生計が困難な市民への自立の支えとして、ライフレスキュー事業により食の提供を行うことができました。今後、市内の社会福祉施設と連携、協働しライフレスキュー事業を強化し、翌年度につなげていきます。

～社会福祉事業の推進～

1 法人組織、事務局機能の強化

理事会は4回開催し、今期は任期満了年であり、会長交代がありました。また、理事定員を1名増員し、その枠を民生委員・児童委員協議会とし、組織の強化を図りました。評議員会は、年3回開催致しました。

令和元年度は、退職に伴う2名の正規職員を雇用し、新たな体制づくりに向けて、職員研修を増やし、職員のレベルの向上に努めて参りました。また、事務局内職員の異動により、職員の事業の理解を深めるようにいたしました。

働き方改革制度により、職員の就業について残業時間の上限規制や年次有給休暇取得の確認、残業手当の支給要件の見直し等一部改正を行い、臨時職員については、新たに登録臨時職員の就業規則を設置し、労働基準法に沿いながら規則及び規程の整備を行い、職員の待遇改善等を図りました。

2 地区社会福祉協議会との連携強化

地区社会福祉協議会連絡会は14地区で構成され、月1回（第2火曜日）に開催しています。「市民が支え合い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし、一人ひとりが生きがいを持って、自立した生活ができるまちづくり」を目指して、各地区社協の地域福祉活動状況や情報交換を行うなど、本会との連携強化を図り、地域福祉の推進に努めました。

3 地域福祉活動計画の推進

平成30年度に翌年度からの5年間を計画期間として「第2期朝倉市地域福祉活動計画」を策定しました。この計画に基づき市内14地区社会福祉協議会を訪問し、地区社協会長や地区の役員、事務局員を交えて地区が抱える課題や問題点の確認を行いました。その問題点等を解決するために、毎月開催している地区社協連絡会において情報交換を行い、地域福祉の推進に向け取り組みを行いました。

4 機関紙「社協だより」の発行

機関紙である「社協だより」を年6回（奇数月）発行し、本会の事務・事業等について、見やすい分かりやすいを重点にかつ詳細に周知し、啓発に努めるとともに、ホームページについても常に情報を更新しながら引き続き運用を行いました。

5 共同募金事務及び啓発活動

今年度より共同募金事務及び啓発活動が福祉課から総務課に移行いたしました。このことにより事務に関わる職員体制を見直し、啓発活動の枠を広げ、啓発場所や資材募金等の依頼先を増やし、本会に取りまして赤い羽根共同募金百貨店プロジェクトに加盟された企業が初めてありました。

6 共同募金配分金事業

地域福祉活動推進のための共同募金の配分金を財源として、①高齢者福祉活動、②障害児者福祉活動、③児童・青少年福祉活動、④福祉育成援助活動を行いました。

高齢者福祉活動として「ほのぼの配食・会食事業」、「ふれあい・いきいきサロン」をはじめ、障害児者福祉活動として「交流ボランティアワーク」や「交流クリスマス会」、児童青少年福祉活動として「小中学生ボランティアスクール（夏休み手話講座）や小学校3年生へ福祉の心を育む福祉教育教材「ともに生きる」の配布、福祉育成援助活動として「社協だよりの発行」、「ボランティア育成事業」、「住民福祉ボランティアのつどい」などを行いました。

7 福祉協力指定校事業

市内の小学校・中学校・高等学校と連携し、社会福祉への理解と関心を高め、福祉教育の研究、実践を通じて児童及び生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育成することに努めました。心豊かな人権感覚を養うとともに、児童及び生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的として市内18の小・中・高等学校に支援を行いました。

8 生活福祉資金等貸付事業

福岡県社会福祉協議会の窓口事業として、本会が受付窓口となり、低所得世帯等を対象に低利子又は無利子で生活福祉資金等の貸付を行いました。

また、福岡県社会福祉協議会及び民生委員・児童委員との連携を強化し、償還の指導や生活援助を通じて世帯の安定と自立の支援に努めました。

9 日常生活自立支援基幹的社協事業

平成27年9月から、福岡県社会福祉協議会から委託を受けて事業を開始しました。両筑地区社会福祉協議会（朝倉市、小郡市、うきは市、大刀洗町、筑前町、東峰村）を対象に、基幹的社協として日常生活自立支援事業を実施しましたが、10月1日より全市町村方式へ移行したために、9月30日で終了しました。

10 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づいて、認知症や知的障がい、精神障がい等で判断能力が十分でない方の権利を擁護するため、地域において自立した生活が送られるように、支援計画に基づいて、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行い、支援することに努めました。

11 総合相談事業

相談事業は、心配ごと相談を毎月第2・第4火曜日に本所で、毎月第1・第3火曜日に朝倉支所で、毎月第2・第4水曜日に杷木支所で実施しました。法律相談については、弁護士による相談を月2回、司法書士による相談を月1回本所で実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

12 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づいて、障がい児、障がい者が持っている能力に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、①奉仕員養成研修事業 ②点字・声の広報等発行事業 ③生活訓練等事業 ④自発的活動支援事業 ⑤意思疎通支援事業 ⑥移送サービス事業を行いました。

13 ボランティア活動の支援

ボランティア活動に係る情報を提供するとともに、活動のきっかけづくりや相談・支援、情報提供などの事業を推進しました。

市民を対象とした傾聴ボランティア講座（3回）や布の絵本制作講座、福祉ボランティア団体代表者会を開催し人材の発掘と育成に努めるとともに、ボランティア活動の支援を行いました。また、福祉に関する理解と啓発を行うとともに、地域で活動する市内福祉ボランティア団体の紹介及び新たなボランティアの人材発掘と育成を目的として開催する「朝倉市住民福祉ボランティアのつどい」は、朝倉地域生涯学習センター及び朝倉老人福祉センターにて開催しました。

14 介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防事業として市から委託を受け、地域ミニデイ推進事業（ふれあい・いきいきサロン）、通所型介護予防普及啓発事業（いきいき健康クラブ）、高齢者筋力トレーニング事業、健康づくりサポート教室を積極的に実施し、介護予防及び健康管理・維持の推進に努めました。介護予防事業の中でも特に健康づくりサポート教室は利用者が多くなつたため、水曜日の午前中を実施することで対応しました。

15 P-UP 教室事業

高校生以上の方を対象にして、トレーニング機器を使って体力の維持向上や疾病予防等を目的として、健康な生活が送られるように支援を行いました。

16 災害ボランティアセンターの活動

九州北部豪雨発生から3月末で2年9か月が過ぎ、家屋等の復旧はほぼ完了しているため、ボランティアによる活動依頼はありませんでした。佐賀県豪雨や関東を中心に広域で甚大な被害をもたらした台風19号など全国各地で甚大な被害が発生しましたので、資機材の送付や職員を派遣し活動支援を行いました。

17 地域支え合いセンター事業

朝倉市からの委託を受け、九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行いました。

地域支え合いセンターが発足して2年2か月が経過し、訪問対象世帯件数1,082件の内、自宅を修繕・新築したなどにより支援終結が787件となっています。引き続き、訪問活動を行い適切な支援を行っていきます。

18 ふくおかライフレスキュー事業（生計困難者に対する相談支援事業）

平成31年4月26日から地域における公益的な取組の一つとして生計に困難をきたしている方々に対して相談支援事業としてふくおかライフレスキュー事業を実施しています。また、本年度は、ライフレスキュー朝倉連絡会が発足し市内の社会福祉法人と連携・協働しながら推進していきます。

相談件数 20名、支援者数8名（支援終了6名、支援中2名）

19 年賀寄付金分配分事業

日本郵便株式会社が行う年賀寄付金配分金事業は、「お年玉郵便はがき等に関する法律」に基づいています。

年賀寄付金配分金事業の中に、「風水害、震災等非常災害時による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業」があり、申請したところ採択されましたので、「笑いの健康」講座を実施しました。

開催回数 23回（ふれあい・いきいきサロン20回）

（甘木・朝倉・杷木地域でそれぞれ1回）

20 新型コロナ感染に伴う生活資金特例貸付事業

新型コロナウィルス感染の影響を受けた方々への生活資金特例貸付事業が、3月23日より開始されました。

本会は3月23日より受付を開始し、相談事業を行い対応しました。

3月23日～3月31日まで

緊急小口資金（特例貸付） 10名

総合支援資金（特例貸付） 1名

事業報告の内容

1. 法人運営事業

【事務局組織図】(令和2年3月31日)



【会議の開催状況】

●理事会

第1回（令和元年6月6日）保健福祉センター2階 第6学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
報告第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度（第3次）補正予算の専決処分について	同意
報告第2号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度（第1次）補正予算の専決処分について	同意
議案第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会次期役員候補者について	承認
議案第2号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について	可決
議案第3号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度事業報告について	承認
議案第4号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度決算について	承認
議案第5号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員会選任・解任委員会の招集について	可決
議案第6号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員会の招集について	可決

第2回（令和元年6月21日）保健福祉センター2階 第6学習室

議案番号	件 名	結果
議案第7号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会会长の選定について	可決
議案第8号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会副会長の選定について	可決
議案第9号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会常務理事の選定について	可決
議案第10号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員の選任について	同意

第3回（令和元年9月12日）保健福祉センター2階 第6学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
報告第3号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職務執行状況報告について（3月～8月）	承認
議案第11号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度第2次補正予算（案）について	同意
議案第12号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会弔慰規程の一部改正について	可決
議案第13号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会社会福祉充実計画について	同意

第4回（令和2年3月23日）保健福祉センター2階 第7学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
報告第4号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職務執行状況報告について（3月～8月）	承認
報告第5号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集、同委員会への評議員の選任及び解任の提案並びに結果の報告について	同意
議案第14号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款細則の一部改正について	可決
議案第15号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について	可決
議案第16号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会就業規則の一部改正について	可決
議案第17号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定年再雇用者職員就業規則の一部改正について	可決
議案第18号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について	可決
議案第19号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	可決
議案第20号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会登録臨時職員就業規則の一部改正について	可決
議案第21号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会助成金等交付規則の廃止について	可決
議案第22号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会助成金等交付規程の設置について	可決
議案第23号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について	可決

議案第24号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度第3次補正予算（案）について	同意
議案第25号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会令和2年度事業計画（案）について	同意
議案第26号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会令和2年度当初予算（案）について	同意
議案第27号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会第3回評議員の招集について	可決

●評議員会

第1回（定時評議員会 令和元年6月21日）保健福祉センター2階 第7学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
報告第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度第3次補正予算（案）の専決処分について	承認
報告第2号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度第1次補正予算（案）の専決処分について	承認
議案第1号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会理事・監事について	可決
議案第2号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度事業報告について	承認
議案第3号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成30年度決算について	承認

第2回（令和元年9月26日）保健福祉センター2階 第7学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
議案第4号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成31年度第2次補正予算（案）について	承認
議案第5号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会弔慰規程の一部改正について	可決
議案第6号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会社会福祉充実計画について	承認

第3回（令和2年3月30日）※新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため、当日の午前中に書面による評議員会決議の省略とし全員の同意書を受領。

報告又は議案番号	件 名	結果
報告第3号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会の評議員の選任及び解任の報告について	同意

議案第 7 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定款細則の一部改正について	同意
議案第 8 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会職員の給与等に関する規程の一部改正について	同意
議案第 9 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会就業規則の一部改正について	同意
議案第 10 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会定年再雇用職員就業規則の一部改正について	同意
議案第 11 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について	同意
議案第 12 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	同意
議案第 13 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会登録臨時職員就業規則の一部改正について	同意
議案第 14 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会助成金等交付規則の廃止について	同意
議案第 15 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会助成金等交付規程の設置について	同意
議案第 16 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会事務局設置の一部変更について	同意
議案第 17 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会平成 31 年度第 3 次補正予算（案）について	同意
議案第 18 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会令和 2 年度事業計画（案）について	同意
議案第 19 号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会令和 2 年度当初予算（案）について	同意

●三役会（ボランティアステーション又はワークステーション）

区分	実施日	内 容
第1回	令和元年 5月30日	① 理事会・評議員会報告事項について ② 理事会・評議員会提出議案について
第2回	6月11日	① 理事会提出議案について
第3回	9月2日	① 理事会・評議員会報告事項について ② 理事会・評議員会提出議案について
第4回	令和2年 2月27日	① 理事会・評議員会報告事項について ② 理事会・評議員会提出議案について

●監事監査

区分	実施日	内 容
第1回	令和元年5月21日	午前9時～午後4時30分 ワークステーションにて

●評議員選任・解任委員会（第8学習室又はボランティアステーション）

区分	実施日	内 容
第1回	令和元年6月7日	① 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員解任について ② 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任について
第2回	令和2年2月6日	① 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員解任について ② 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任について

●表彰審査会

令和元年9月2日 第8学習室 表彰審査員 出席者 7名 欠席者 2名
審査件数 13件（承認 12件 未承認 1件）

●福祉表彰式

令和元年10月16日 10時から 第5学習室

[受賞者] 社会福祉事業功労者	表彰状 2名
社会福祉事業協助者	表彰状 2名
社会福祉事業協助者	感謝状 5名
寄付を行った者又は団体	感謝状 2団体
受賞辞退 1名	

●広報委員会（ボランティアステーション）

区分	実施日	内 容
第1回	4月3日	令和元年6月1日号編集
第2回	4月17日	令和元年6月1日号校正
第3回	6月4日	令和元年7月15日号編集
第4回	6月17日	令和元年7月15日号校正
第5回	8月7日	令和元年9月15日号編集
第6回	8月19日	令和元年9月15日号校正
第7回	10月7日	令和元年11月15日号編集
第8回	10月15日	令和元年11月15日号校正
第9回	12月3日	令和2年1月15日号編集

第10回	2月10日	令和2年1月15日号校正
第11回	2月4日	令和2年3月15日号編集
第12回	2月13日	令和2年3月15日号校正
第13回	3月19日	令和2年5月1日号編集

●共同募金会 朝倉市支会

区分	実施日	内 容
第1回	4月9日	・共同募金会朝倉市支会規約について ・感謝状（3企業）
第2回	5月15日	・令和元年度共同募金配分申請について
第3回	6月11日	・赤い羽根共同募金「寄付付き賞品（募金百貨店プロジェクト）」について
第4回	7月9日	・共同募金会朝倉市支会理事、評議員会研修会について ・豪雨災害義援金の受付延長について他
第5回	8月21日	報告等なし
第6回	9月10日	・赤い羽根共同募金運動について ・令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金について
第7回	10月8日	・令和元年度赤い羽根共同募金運動の状況について 他
第8回	11月12日	・令和元年度赤い羽根共同募金運動の状況について ・令和元年度赤い羽根キャッチフレーズ表彰式について 他
第9回	12月10日	・令和元年度赤い羽根共同募金運動（戸別募金）について ・令和元年度台風第19号災害義援金について
第10回	1月14日	・令和元年度赤い羽根共同募金運動の実績について ・令和元年度台風災害第19号災害義援金について
第11回	2月12日	・令和元年度赤い羽根共同募金運動の実績について ・令和元年度共同募金実績に係る配分（案）について ・令和元年度（令和2年度事業）共同募金配分申請変更（案）について他
第12回	3月10日～ 12日訪問	・令和元年度共同募金会朝倉市支会事業報告 ・平成31年度共同募金会朝倉市支会第1次補正予算（案） ・令和2年度共同募金会朝倉市支会当初予算（案）について他

●連絡、調整等

実施日	主 催	件 名
4月24日	福岡県社会福祉協議会	平成31年度社協会長・常務理事・事務局長会議

4月25日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会代表者会
4月25日	愛音の会	手話の会定期総会
4月26日	朝倉市民生委員・児童委員協議会	朝倉市民生委員・児童委員協議会総会
4月27日	朝倉市身体障がい者福祉協会	朝倉市身体障がい者福祉協会総会
4月28日	朝倉市視覚障がい者福祉協会	朝倉市視覚障がい者福祉協会
4月28日	朝倉青年会議所	朝倉青年会議所50周年記念祝賀会
5月29日	(株) ポルテ	赤い羽根共同募金百貨店寄付つき商品調印式
5月30日	朝倉市老人クラブ連合会	朝倉市老人クラブ連合会総会
6月3日	朝倉市復興推進室	朝倉市復興推進委員会
6月24日	両筑地区社会福祉協議会	就任挨拶回り(両筑管内会福祉協議会)
6月27日	福岡県社会福祉協議会	就任挨拶回り(両筑管内会福祉協議会)
7月25日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会連絡会
7月26日	朝倉市介護サービス課	介護保険運営協議会
8月5日	朝倉市福祉事務所	民生委員推薦会
8月20日	朝倉市保護係	生活困窮者自立支援事業打ち合わせ
8月23日	十一市社協連絡協議会	十一市社協連絡協議会
9月6日	福岡県社会福祉協議会	社協会長、常務理事、事務局長研修会
9月18日	市老人クラブ連合会	市老人クラブ連合会グランドゴルフ大会
10月18日	両筑地区社会福祉協議会	令和元年度両筑地区社会福祉協議会事務局長会
10月25日	働き方改革推進支援センター	働き方改革推進支援相談指導1回目
10月27日	両筑地区ろうあ者協会	両筑地区聾啞者スポーツ大会
10月28日	長野県、栃木県	資機材積み込み作業
11月5日	久留米労働基準監督署	久留米労働基準監督署調査報告
11月14日	県南地区社会福祉協議会連絡会	県南地区社会福祉協議会連絡会
11月14日	朝倉市介護サービス課	朝倉市指定管理プロポーザル(老人福祉センター)
11月18日	人権同和対策課	人権教育研修会
11月20日	朝倉市福祉事務所	生活困窮者自立支援事業打ち合わせ
11月22日	朝倉市ボランティア連絡協議会	「豪雨災害とボランティア活動について」
11月26日	博多港湾開発整(株)	物品寄付の申出
11月30日	朝倉市民生・児童委員協議会	民生委員・児童委員協議会感謝状贈呈式
12月3日	朝倉市人権同和対策課	人権週間街頭啓発(イオン甘木)
12月6日	朝倉市民生・児童委員協議会	朝倉市民生委員・児童委員協議会委嘱状交付式
1月23日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会(働き方改革制度研修)
1月31日	県南地区社協連絡会	県南地区社会福祉協議会連絡会
2月21日	朝倉市(復興推進室)	朝倉市復興推進委員会
3月9日	働き方改革推進支援センター	働き方改革推進支援相談指導2回目

福祉課

●地区社会福祉協議会連絡会

区分	実施日	内容
第1回	4月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期朝倉市地域福祉活動計画の推進について ・地区社協助成金について ・ふれあいいきいきサロン研修会について ・地区社協正副会長の選出及び承認について 他
第2回	5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協事務取扱担当者研修会について ・第2期朝倉市地域福祉活動計画意見交換会の日程 ・生活困窮者に対する相談支援事業について ・令和元年度災害ボランティアセンター設置場所等 他
第3回	6月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協表彰審査会委員の選出について ・「福祉表彰」に伴う被表彰者並びに団体の推薦について ・朝倉市民生委員推薦会委員の推薦について ・地区社協情報交換「福祉委員活動について」他
第4回	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協助成金申請書 ・住民福祉ボランティアのつどい福祉バザー出店について 他
第5回	8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ボランティア団体代表者会開催について他
第6回	9月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・助成対象事業の助成金について ・住民福祉ボランティアのつどい開催及び参加依頼 他
第7回	10月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置場所等の候補地状況 ・必要な資材の提供希望調査 他
第8回	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協情報交換（美奈宜の杜地区買い物支援活動） ・資材の提供について（長野県、栃木県へ） 他
第9回	12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度ふれあいいきいきサロン連絡会について ・地区社協情報交換（美奈宜の杜地区買い物支援活動） ・みんなが主役の元気な地域づくりセミナーについて他
第10回	1月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度ふれあいいきいきサロン連絡会について ・地区社協情報交換（高齢者及び障がい者等要援護者への見守り支援活動について）他
第11回	2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度地区社協負担額について ・令和元年度福祉ボランティア「活動実績報告書」及び令和2年度「福祉ボランティア団体」登録について ・地区社協情報交換（各地区の見守り支援と民生委員の関わりについて）
第12回※	3月10日～ 12日訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協助成事業報告 ・令和2年度朝倉市地区社会福祉協議会調査票の提出他

※新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため、全体会中止。代わりに地区社協へ訪問。

●生活福祉資金貸付調査委員会

区分	実施日	内容
第1回	1月14日	教育支援資金申し込み 2件

●視察受入、講師派遣

日付	相手先	件名
4月22日	糸島市雷山公民館雷山シニアクラブ	災害ボランティア活動及び心構えについて
5月14日	宇和島ボランティア等団体	地域支え合いセンター意見交換会
5月22日	鹿児島県姶良郡湧水町民生委員会	災害ボランティアセンターの運営及び取組みについて
8月28日	静岡県掛川市市議会	災害ボランティアセンターの運営及び取組みについて
9月18日	小城市芦刈町民生委員会	豪雨災害の実態と対応の概要、ボランティア活動の教訓等
9月25日	早良区民生・児童委員会	災害当時から復興に際しての民生委員の動き（益永民生委員）
10月2日	長崎市社会福祉協議会	長崎市社会福祉大会『災害で得られた教訓を、未来の災害対策のために』
10月29日	唐津市鏡校区社協	災害ボランティアセンターの運営について
11月6日	姶良伊佐地区社協連絡会 (湧水町・霧島市・姶良市・伊佐市)	災害ボランティアセンターの運営及び取組みについて
11月19日	中津市今津校区民生委員	災害ボランティアセンターの運営及びその後の取組みについて
11月26日	荒玉都市社協連合会理事	・災害ボランティアセンターの立ち上げから運営 ・コミュニティマッチングに於ける小地域活動
11月27日	佐世保市社会福祉協議会	・災害ボランティアセンターの運営を踏まえて ・朝倉市地区社協連絡会について（尾藤会長） ・社協の支援について
9月19日※1	別府市社協（17地区）	災害ボランティアセンターの役割と活動内容及び災害ボランティアの心構え
3月2日※2	福岡県弁護士会	福岡県弁護士会災害対策委員会（パネルディスカッション） 『災害時における行政、社協、ボランティア団体との三者連携と弁護士の関わり』 ・ボランティアセンターの初期活動 ・ボランティア団体、自治体との連携 ・被災の初期、中長期（支え合いセンター）、復興期に弁護士がどう関われるか

※1 災害支援のため中止 ※2 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

●連絡、調整等

日付	相手先	件名
4月18日	地域包括支援センター	第1回地域ケア個別会議
5月16日	地域包括支援センター	第2回地域ケア個別会議
5月31日	朝倉市社会福祉施設代表者連絡会	福岡ライフレスキュー事業説明会
6月2日	朝倉青年会議所・朝倉市	あさくら防災フェスティバル
6月6日	朝倉市民生委員・児童委員協議会	ふくおかライフレスキュー制度説明
6月17日	朝倉市地区社協	地区社協事務取扱担当者研修会
6月20日	地域包括支援センター	第3回地域ケア個別会議
6月27日	朝倉市介護サービス課	第1回地域ケア推進会議
7月17日	高木地区民児協議会	ふくおかライフレスキュー事業説明
7月18日	地域包括支援センター	第4回地域ケア個別会議
7月23日	杷木支援ベース	情報共有会議
7月29日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会地域福祉活動部会
8月16日	地域包括支援センター	第5回地域ケア個別会議
8月21日	杷木支援ベース	情報共有会議
8月27日	小郡、大刀洗、筑前社協	日常生活自立支援事業市町村移行打ち合わせ
9月3日	長崎市社会福祉協議会	長崎市社会福祉大会打ち合わせ
9月4日	社会福祉施設大会実行委員会	第2回ふれあい・スポーツ大会実行委員会
9月5日	障害者自立支援協議会	障害者自立支援協議会運営部会
9月19日	地域包括支援センター	第6回地域ケア個別会議
9月24日	杷木支援ベース	情報共有会議
10月15日	朝倉市復興推進室	次年度打ち合わせ
10月17日	地域包括支援センター	第7回地域ケア個別会議
10月17日	自立支援協議会	自立支援協議会地域部会
10月17日	杷木支援ベース	情報共有会議
11月5日	朝倉市復興推進室	特設常駐所「えんがわ」開設
11月6日	朝倉市介護サービス課	第2回地域ケア推進会議
11月13日	杷木支援ベース	情報共有会議
11月21日	地域包括支援センター	第8回地域ケア個別会議
12月5日	朝倉市民生児童委員協議会	第1回民生委員・児童委員協議会会长会(事業説明)
12月11日	特別養護老人ホーム甘木愛光園	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月12日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会地域福祉部会
12月12日	青梅保育園	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月16日	障がい者福祉施設千代の里	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月16日	ひろにわ保育所	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月17日	朝倉市介護サービス課	要援護者見守りネットワーク担当者会

12月18日	特別養護老人ホーム口迎の園	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月18日	障がい者福祉施設こがね園	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月18日	障がい者福祉施設清流学園	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月19日	地域包括支援センター	第9回地域ケア個別会議
12月24日	児童養護施設古処学園	ふくおかライフレスキュー事業説明
12月25日	特別養護老人ホームきらく荘	ふくおかライフレスキュー事業説明
1月8日	児童養護施設ひばりヶ丘学園	ふくおかライフレスキュー事業説明
1月9日	生い立つ保育園	ふくおかライフレスキュー事業説明
1月14日	自立支援協議会	自立支援協議会運営部会
1月15日	馬田保育園	ふくおかライフレスキュー事業説明
1月16日	地域包括支援センター	第10回地域ケア個別会議
1月28日	自立支援協議会	自立支援協議会地域部会
1月31日	朝倉市介護サービス課	第3回地域ケア推進会議
2月5日	朝倉市介護サービス課	要援護者見守りネットワーク協議会打ち合わせ
2月7日	朝倉市社会福祉施設連絡会	ふくおかライフレスキュー制度説明
2月7日	地域包括支援センター	朝倉市地域包括支援センター運営協議会
2月13日	朝倉地区企業内同推協	朝倉地区企業内同和問題推進協議会
2月14日	杷木地区民児協	杷木地区民生委員・児童委員協議会定例会（心配ごと相談説明）
2月14日	介護保険事業者協議会	第2回介護保険運営協議会
2月17日	朝倉市介護サービス課	朝倉市要援護者見守り支援ネットワーク協議会
2月20日	地域包括支援センター	第11回地域ケア個別会議
2月21日	自立支援協議会	自立支援協議会子ども支援部会
2月25日	朝倉記念病院	令和元年度認知症地域医療連携協議会
3月4日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会地域福祉活動部会
3月18日	朝倉市（介護サービス課）	介護予防ポイント事業推進委員会
3月19日	地域包括支援センター	第12回地域ケア個別会議

【職員研修】

共同募金新任研修会、社会福祉施設役職員新任研修2日間、算定基礎説明会、市町村社協管理職員研修、ひきこもり支援関係者研修会、令和元年度生活福祉資金事務説明会、高齢者虐待防止・権利擁護研修、令和元年度福祉教育担当者意見交換会及び福祉教育セミナー、福岡県日常生活自立支援事業業務支援システム「らいと」操作説明会、令和元年度地域担当職員研修「不登校・ひきこもりの理解と支援」、社協会長・常務理事・事務局長研修会、社会福祉法人トップセミナー2019「みんなで支え合う地域共生社会を目指して」、共同募金担当職員研修会、両筑地区社会福祉協議会連絡会（新任研修）、ふくおかライフレスキュー事業令和元年度サポーター養成研修3日間、令和元年度働き方改革に関する研修会、令和元年度会計・財務入門講座、安全運転管理者

講習会、人権研修会、令和元年度福岡県社会福祉大会、人権協合同研修、高年齢者雇用管理セミナー、人権教育研修会、年末調整説明会、市町村社会福祉協議会会計セミナー、人権を考える朝倉市民のつどい、防火管理者講習会2日間、令和元年度広報担当者研修（実践コース）、ヒューマンライツシアター、両筑地区社会福祉協議会研修会（ライフレスキュー）、日常生活自立支援専門員研修会、両筑地区社会福祉協議会研修会（働き方改革制度）、令和元年度災害時における他機関連携の為のセミナー、朝倉地区企業内同和問題推進協議会、日常生活自立支援生活支援研修会、地域支え合いセンター視察研修（大津町）、生活困窮者自立支援に関する研修会、

【普及宣伝】

●広報活動

広報紙「社協だより」の発行

発 行 日 号数 (通算発行 No.)	内 容
令和元年6月1日発行 第1号 (No. 61)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業計画、予算の概要 ・サロン活動紹介・共同募金の使い道・寄付掲載 ・サービス苦情解決事業、総合相談のご案内 ・生活訓練参加者募集
令和元年7月15日発行 第2号 (No. 62)	<ul style="list-style-type: none"> ・募金百貨店プロジェクト・会長退任、就任のご挨拶 ・平成30年度事業報告、決算の概要・役員等紹介 ・サロン活動紹介・寄付掲載・ライフレスキュー事業紹介・なつやすみ手話講座、初めての点訳講座
令和元年9月15日発行 第3号 (No. 63)	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金運動がはじまります・サロン活動紹介・手話奉仕員養成講座、布の絵本養成講座・寄付掲載・傾聴ボランティア講座・身体障がい者福祉協会会員募集・住民福祉ボランティアのつどいお知らせ
令和元年11月15日発行 第4号 (No. 64)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉表彰受賞者紹介・共同募金運動展開中 ・サロン活動紹介・災害支援金お礼・寄付掲載 ・災害支援紹介・いきいき健康クラブ会員募集 ・総合相談・朗読講座募集
令和2年1月15日発行 第5号 (No. 65)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金特別賞受賞おめでとう・年頭のあいさつ ・生活訓練参加者募集・サロン活動紹介 ・障がい児者レクリエーション交流会ボランティア募集 ・寄付掲載・福祉のお仕事、介護のお仕事復帰セミナー紹介
令和2年3月15日発行 第6号 (No. 66)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金ご協力ありがとう・福祉体験学習 ・母子寡婦福祉会会員募集・サロン活動紹介 ・寄付掲載・福祉サービス苦情解決事業紹介 ・地域支え合いセンター統合・手話講座募集

令和元年度事業明細（総務課）

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 法人運営事業 | 独自事業 |
| 2. 法人運営管理事業 | 補助事業 |
| 3. 老人福祉センター指定管理事業 | 受託事業 |
| 4. 共同募金啓発事業 | 共同募金 |

1. 独自事業

1. 法人運営事業

皆さまからの寄附金等を集約し、本会が行う社会福祉事業に必要に応じて、配分金を拠出しています。

一般寄附金・・・・・・ 19件 654,740円

(災害支援金含む)

香典返し・・・・・・ 291件 3,920,000円

計 4,574,740円

(災害ボランティアセンターへの災害支援金 6件 157,289円)

2. 補助事業

2. 法人運営管理事業

・本会職員のうち、特定の事業を除く職員6名・嘱託4名の人物費・福利厚生費
40,268,880円

・地区社会福祉協議会運営事業費

1,019,000円

3. 受託事業

3. 老人福祉センター指定管理事業

・5年間の指定管理契約（H27年度～H31年度）

・令和2年3月2日より新型コロナウィルス感染症拡大防止につき老人福祉センターの利用を自粛要請、その後休館。

【防火および避難訓練】

・年2回（11月通報訓練・3月総合訓練）

*朝倉老人福祉センター 来館者数 9,810名

【本会利用事業】

- ・いきいき健康クラブ
- ・筋力向上トレーニング
- ・健康づくりサポート教室
- ・P-UP 教室
- ・心配ごと相談
- ・人権相談
- ・地域支え合いセンター甘木及び朝倉

*杷木老人福祉センター 来館者数 2, 653名

【本会利用事業】

- ・いきいき健康クラブ
- ・心配ごと相談
- ・人権相談
- ・行政・消費生活相談
- ・地域支え合いセンター杷木

4. 共同募金事業

4. 共同募金事務及び啓発活動

【社協だより広報紙掲載】

- | | |
|----------|--|
| 6月 1日号 | ・共同募金の使い道について |
| 9月 15日号 | ・赤い羽根共同募金運動が始まります |
| 11月 15日号 | ・赤い羽根共同募金運動展開中 |
| 1月 15日号 | ・赤い羽根共同募金キャッチフレーズ「特別賞」受賞
朝倉市立朝倉東小学校 |
| | ・共同募金会朝倉市支会「優秀地区」受賞 |
| 3月 15日号 | ・共同募金総額のお知らせ |

【街頭啓発】令和元年10月1日（敬称略）

- ① 三連水車の里※ （理事評議員4名、職員3名）
- ② ファームステーションバサロ※ （理事評議員3名、職員4名）

- ③ レッドキャベツ (理事評議員6名、職員2名)
 - ④ イオン甘木店 (理事評議員4名、職員3名)
 - ⑤ マルショク来春店※ (理事評議員4名、職員2名)
 - ⑥ A コープあまぎ (理事評議員5名、職員3名)
 - ⑦ A コープあさくら (理事評議員6名、職員2名)
 - ⑧ マルキョウ杷木 (理事評議員3名、職員2名) ※新規協力店

【イベント】 令和元年10月26日（土曜日）

住民福祉ボランティアのつどい

- ・朝倉生涯学習センター（資材販売等）
 - ・朝倉老人福祉センター（おたのしみ抽選会）
おたのしみ抽選会は、ガラポンを使ってくじを引き景品を渡す。
参加費がそのまま寄附になります。

【自動販売機協力企業】（敬称略）

- ・ナガノインテリア工業株式会社 2台
 - ・株式会社九州プレシジョン 朝倉工場 1台
 - ・JA 筑前あさくら入地葬祭センター 1台
 - ・JA 筑前あさくら福田支店 1台
 - ・JA 筑前あさくら鶴城支店 1台
 - ・社会福祉法人 宏志会 夢花館 1台
 - ・個人宅 1台
 - ・東進衛星予備校学習館甘木校 1台
 - ・朝倉老人福祉センター 1台

【職域・資材募金協力企業、団体】（敬称略）

- ・コミュニティ協議会
 - ・地区社会福祉協議会
 - ・区長会
 - ・株式会社ブリヂストン甘木工場
 - ・オーケー食品工業株式会社
 - ・福岡法務局 朝倉支局※
 - ・ハローワーク朝倉※

(表記語) 時 間 事 件 の 次 の も

- ・甘木・朝倉消防本部
- ・朝倉市役所 以上 ※新規

【募金および資材売り上げ】

戸別募金	9, 264, 780円
職域・資材募金	445, 543円
自動販売機募金	313, 144円
街頭・イベント募金	106, 406円
寄付つき商品募金	62, 000円
個人(篤志)募金ほか	53, 598円
合計	10, 245, 471円

【赤い羽根共同募金百貨店プロジェクト】(敬称略)

加盟店 第1号 株式会社ポルテ

令和元年度事業明細(福祉課)

1. 地域福祉活動計画推進事業	独自事業
2. 住民福祉事業(P-UP教室事業)	独自事業
3. 総合相談事業	補助事業
4. ふれあいのまちづくり事業	補助事業
5. 災害ボランティアセンター運営事業	補助事業
6. 生計困難者に対する相談支援事業	補助事業
7. 年賀寄付金配分事業	補助事業
8. 生活福祉資金貸付事業	受託事業
9. 新型コロナ感染に伴う生活福祉資金特例貸付事業	受託事業
10. 障害者移動支援事業	受託事業
11. 高齢者筋力トレーニング事業	受託事業
12. 健康づくりサポート事業	受託事業
13. 障害者地域生活支援事業	受託事業
14. 通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)	受託事業
15. 通所型介護予防普及啓発事業(外出支援サービス)	受託事業
16. 地域ミニデイサービス推進事業(ふれあい・いきいきサロン)	受託事業
17. 日常生活自立支援事業	受託事業
18. 日常生活自立支援基幹的社協事業	受託事業
19. 住民福祉ボランティアのつどい	共同募金事業 補助事業
20. 地域支え合いセンター運営事業	受託事業
21. 共同募金配分金事業	共同募金事業
22. その他独自事業	独自事業

【独自事業】

1. 地域福祉活動計画推進事業

平成30年度に翌年度からの5年間を計画期間として「第2期朝倉市地域福祉活動計画」を策定しました。市内14地区社会福祉協議会を5月から6月にかけて訪問し、地区社協会長や役員、事務局職員を交えて課題や問題点の確認を行いました。その問題点等を解決するために、毎月開催の地区社協連絡会において情報交換を行い、地域福祉の推進に向け取り組みを行っています。しかしながら、3月については、新型コロナウイルス感染拡大防止にため地区社協連絡会を中止し、各地区社協を訪問し資料に基づき説明を行いました。

2. 住民福祉事業(P-UP教室事業)

朝倉市内在住の16歳以上を対象として、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、疾病の予防やメタボリックシンドロームの改善等、健康で活動的な生活を営むことを目的として実施しました。

	令和元年度	平成30年度	増減	前年度対比
利用者(実数)	141名	117名	+24名	121%
利用者(延数)	790名	583名	+207名	136%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の予定(9回)は、中止としました。

【補助事業】

3. 総合相談事業

総合相談は、心配ごと相談を毎月第2・第4火曜日に本所で、毎月第1・第3火曜日に朝倉支所で、毎月第2・第4水曜日に杷木支所で実施しました。法律相談については、弁護士による相談を月2回、司法書士による相談を月1回本所で実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

心配ごと相談 35件(甘木 12件、朝倉 12件、杷木 11件)

法律相談 67件(月2回実施、1回平均3人)

司法書士相談 36件(月1回実施、1回平均3. 3人)

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は心配ごと相談(6回)や法律相談(2回)、司法書士相談(1回)は、中止としました。

4. ふれあいのまちづくり事業

高齢者、障がい児及び障がい者等の保健福祉の増進と市民の地域福祉活動の推進を図るために、地区社会福祉協議会が主体となって実施する小地域ネットワーク事業、ほのぼの配食・会食事業、及びボランティア育成事業への支援を行いました。また、市民の総合相談所として、弁護士、民生委員児童委員協議会、各専門士会等の協力を得て総合相談事業を実施しました。

5. 災害ボランティアセンター運営事業

九州北部豪雨(平成29年7月)から3月末で2年9か月が過ぎ、家屋等の復旧はほぼ完了しているため、ボランティアによる活動依頼はありませんでした。本年度は、佐賀県豪雨や関東を中心に広域で甚大な被害をもたらした台風19号など全国各地で大きな災害が発生しましたので、資機材の送付や職員を派遣し活動支援を行いました。

○市外被災地支援活動(市外災害ボランティア活動)

① 佐賀県武雄市災害ボランティアセンターへ資機材の送付

令和元年8月30日に JC(朝倉市青年会議所)の協力を得て、4トントラックにスコップや一輪車・デッキブラシなどの資機材を積み込み送付しました。

② 佐賀県武雄市災害ボランティアセンターへ職員派遣

令和元年9月10日～14日までの5日間 職員1名

③ 長野県社協と栃木県佐野市社協へ資機材の送付

令和元年10月28日に、JC(朝倉青年会議所)やボランティアなど多くの方の協力を得て、10トントラックと4トントラックの2台に資機材を積み込み送付しました。

6. 生計困難者に対する相談支援事業(ふくおかライフレスキュー事業)

平成31年4月26日から、ふくおかライフレスキュー事業を開始しました。

令和元年度の相談件数は20件、うち支援件数は8件です。

5月31日に、臨時の朝倉市社会福祉施設代表者連絡会(12法人)を開催し、ふくおかライフレスキュー事業についての説明会を福岡県社会福祉協議会より行い、事業への参加を呼びかけました。また、事業実施にあたり、関係機関等への説明会開催や社協だよりにて広報を行い、周知に努めました。また、ライフレスキュー朝倉連絡会発足に向けて市内12法人を訪問し参加を呼びかけました。

「特定非営利活動法人フードバンク福岡」と「食品の譲渡に関する基本合意書」を令和元年7月に締結し、保存できる食料品や調味料等の提供を月2回(毎月第1火曜日と第3火曜日)久留米サテライトにて引き取り、必要とする方々に手渡しました。また、セブンイレブンより社会貢献活動の一環として、店舗閉店時の残商品について、生活に困難を抱えた個人・世帯への支援や地域福祉の推進を図るための寄贈を福岡県社協を通じて受け、必要とする方々に手渡しました。

7. 年賀寄付金配分事業

年賀寄付金配分事業は、「お年玉付郵便葉書等に関する法律」に基づいて、日本郵便株式会社がこれを行っており、「寄付金付年賀葉書」および「寄付金付年賀切手」の寄付金を、法律に定められている「風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業」を行う団体に配分されています。本会は、下記のとおり申請したところ採択されましたので「笑いの健康」講座を実施しました。

《申請事業名》

「九州北部豪雨で被災された方々の心と体を元気にするための「笑いの健康」講座開催事業

《申請事業の内容(概要)》

平成29年7月に九州北部豪雨で被災された方々や介護予防・認知症予防を目的に行っている「ふれあい・いきいきサロン」の高齢者を対象として、「笑い」をテーマに、心と体を元気にする「笑いの健康」講座を開催しました。

開催回数 23回 …… 市内20か所のサロンと甘木地域1か所・朝倉地域1か所・杷木地域1か所の計23か所で実施し参加いただいた皆さんから大変喜んでいただきました。

【受託事業】

8. 生活福祉資金等貸付事業

福岡県社会福祉協議会の窓口事業として、本会が受付窓口となり低所得世帯等を対象に低利子又は無利子で生活福祉資金等の貸付を行いました。また、福岡県社会福祉協議会及び民生委員・児童委員との連携を強化し、償還の指導や生活援助を通じて世帯の安定と自立の支援に努めました。

令和元年度相談件数 70件（貸付決定 14件）

9. 新型コロナ感染に伴う生活資金特例貸付事業

新型コロナウィルス感染の影響を受けた方々への生活資金特例貸付事業が3月23日より開始されました。

3月23日以降3月31日までの1週間の相談件数

緊急小口資金(特例貸付) 10名、 総合支援資金(特例貸付) 1名

10. 障害者移動支援事業

外出が困難な重度の視覚障がい者、身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者に対し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加を目的として外出の際の移動支援事業を実施しました。

利用回数 …… 16回 利用時間 …… 51時間

利用者数 …… 12名

	令和元年度	平成30年度	増減	前年度対比
利用回数	16回	31回	△15回	52%
利用者数(延数)	12名	21名	△9名	57%
利用時間	51時間	105時間	△54時間	49%

★新型コロナウィルス感染拡大防止のため、3月は事業を中止としました。

11. 高齢者筋力トレーニング事業

高齢者(65歳以上)の方を対象に、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持及び向上を図り、3か月間(計24回)実施し、介護予防・健康支援を目的として実施しました。

毎週火曜日と金曜日(週2回) 3か月間で24回の事業(1クール)として実施。

登録者数 48名(12名／1クール平均)

年間利用者 935名(延利用者数)

	令和元年度	平成30年度	増減	前年度対比
登録者数	48名	48名	0名	100%
利用者(延数)	935名	951名	△16名	98%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は事業を中止としました。

12. 健康づくりサポート事業

筋力トレーニング事業を修了された方を対象として、継続的にトレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持向上を目的として実施しました。

利用者の方が増えてきているため、令和元年度からは水曜日の午前中を新たに開設し火曜日・金曜日の午前、水曜日、木曜日の午前・午後の計6回で実施しています。

	令和元年度	平成30年度	増減	前年度対比
利用者(実数)	666名	723名	△57名	92%
利用者(延数)	2, 804名	2, 954名	△150名	95%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は事業を中止としました。

13. 通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)

高齢者(65歳以上)の方を対象に、介護予防を中心とした生きがい対策の取り組みとして、健康体操や栄養改善及び口腔機能などを柱として、レクリエーションや季節の行事などを通じて、楽しみながら心と体を元気にし、いつまでも自宅で健康に生活ができる目的として実施しました。

甘木地区 376回 利用者数 6, 287名 (1回平均 17名)

朝倉地区 134回 利用者数 1, 509名 (1回平均 11名)

杷木地区 85回 利用者数 1, 158名 (1回平均 14名)

開催回数 595回 利用者数 8, 954名 (1回平均 15名)

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は事業を中止としました。

14. 通所型介護予防普及啓発事業(外出支援サービス)

通所型介護予防普及啓発事業(いきいき健康クラブ)を行う会場への送迎を行うことを目的として実施しました。なお、朝倉地区はコミュニティバスを利用しています。

		回数	利用者数
甘木地区	回数・利用者	376回 5, 946名(1回平均 16名)
杷木地区	回数・利用者	85回 1, 070名(1回平均 13名)
地域送迎	回数・利用者	34回 726名(1回平均 21名)
合 計	回数・利用者	495回 7, 742名(1回平均 16名)

15. 障害者地域生活支援事業

障がい児及び障がい者にとって、もっとも身近な市町村において、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障がい者のニーズに合った事業を実施することにより、自立と社会参加ができる目的として実施しました。

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は事業を中止としました。

16. 地域ミニデイサービス推進事業（ふれあい・いきいきサロン）

家に閉じこもりがちな高齢者等に対して、自治公民館などで「ふれあい・いきいきサロン」の開催を積極的に推進するとともに、レクリエーション、健康新体操や趣味活動を支援し、介護予防と地域における福祉コミュニティの推進に努めました。

	令和元年度	平成30年度	増減	前年度対比
登録個所数	121か所	120か所	+1か所	101%
実施開催数	1, 156回	1, 158回	△2回	99%
参加者数	16, 135名	16, 665名	△530名	97%

17. 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づき、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活が送れるよう支援計画に基づき、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の事業を行いました。

	認知	知的	精神	合計
件数	15	5	4	24

18. 日常生活自立支援基幹的社協事業（9月30日で終了）

日常生活自立支援基幹的社協事業は、平成27年9月より、福岡県社会福祉協議会から委託を受け事業を開始しました。両筑地区社会福祉協議会（朝倉市、小郡市、うきは市、大刀洗町、筑前町、東峰村）を対象として基幹社協としての事業を行いました。（相談 → 訪問調査 → 支援計画作成 → 契約 → モニタリング）

	朝倉市	小郡市	うきは市	筑前町	大刀洗町	東峰村	合計
件数	24	22	0	8	10	0	64

なお、10月1日より、両筑地区社会福祉協議会は全市町村方式へ移行になりました。

19. 住民福祉ボランティアのつどい

福祉に関する理解と啓発を行うとともに、地域で活動する市内福祉ボランティア団体の活動事例発表及び新たなボランティアの人材発掘と育成を行うことを目的として、朝倉市、朝倉市ボランティア連絡協議会、朝倉市身体障がい者福祉協会、朝倉市老人クラブ連合会、朝倉市保護司会、朝倉市母子寡婦福祉会の後援を受けて朝倉市住民福祉ボランティアのつどいを、2年ぶりに実施しました。令和元年度は、開催会場を朝倉地域生涯学習センターと朝倉老人福祉センターの2か所に変更し実施しました。

20. 地域支え合いセンター運営事業

朝倉市からの委託を受け、九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行いました。地域支え合いセンターが発足して2年2か月が経過し、訪問対象世帯件数1,082件の支援判定区分は、次の通りです。被災世帯の復興復旧により訪問世帯は減少しています。

年度	A 重点	B 継続支援	C 定期見守り	D 経過観察 (2か月)	E 経過観察 (3か月)	X 終結	判定数
30年度	0	1	21	151	574	335	1,082
元年度	0	0	1	70	224	787	1,082
対比	0	△1	△20	△81	△350	+452	

21. 共同募金配分金事業

共同募金の配分金を財源として、ボランティアワーク事業、ボランティアスクール事業、住民福祉ボランティアのつどい、交流クリスマス会、ボランティア育成事業の開催、福祉協力指定校、ほのぼの配

食・会食事業やふれあい・いきいきサロンへの支援及び各福祉団体への支援を実施しました。

なお、ほのぼの配食・会食事業は、年間を通じて地区社協が実施していますが、3月は中止となりました。

22. その他自主事業

その他の事業として、福祉体験学習や福祉機器等の貸出を実施しました。

○福祉体験学習の実施

小・中・高等学校・専門学校・その他団体に対して、車いす・アイマスクなどのハンディキャップを体験しながら学習を行う。ゲストティーチャーの斡旋などを行う事業。

内 容： 車いす体験、アイマスク体験、手話学習

点字学習、高齢者疑似体験、福祉講話等

合 計： 14校 19回

○福祉機器等の貸出の実施

福祉機器を必要とする方に福祉機器等の貸出を行う事業。

甘木本所： 49件

朝倉支所： 9件

杷木支所： 10件

合 計： 68件

○社会福祉援助技術実習の実施

社会福祉士をめざす実習生を受け入れ、指導を行う事業。

令和元年度は、受け入れなし。

